

令和3年度 技術科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「主体的に学習に向かう態度」については、全体的に熱心に取り組んでおり、おおむね満足できると評価できる。「知識・技能」の「知識」については家庭学習において差が出てきている生徒がいると思われる。また、ものづくりの実践的・体験的な学習活動において、「技能」の評価に差が出てくる生徒がいる。「思考・判断・表現」においては、ワークシート等での課題設定のやり方に差が出てくる生徒がいる。

(2) 課題

- ・学習における課題設定と、振り返りを習慣化させることが求められる。ものづくりにおいては、ほとんどの生徒が意欲的に取り組んでいるが、実践的・体験的な学習活動では、技能の観点の面で差が出てくる生徒がいる。

2 授業の分析（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	工夫	技能	知識・理解
おおむね、あるいは十分満足できる状況である。	実践的・体験的な学習活動では、「技能」や「工夫」の評価に差が出てくる生徒がいる。	意欲的に取り組んでいるが、実践的・体験的な学習活動では、技能の観点に差が出てくる生徒がいる。	知識・理解の差がみられる。授業時数が少ないので、家庭学習における取組を工夫させたい。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	工夫	技能	知識・理解
おおむね、あるいは十分満足できる状況である。	実践的・体験的な学習活動では、「技能」や「工夫」の評価に差が出てくる生徒がいる。	意欲的に取り組んでいるが、実践的・体験的な学習活動では、技能の観点に差が出てくる生徒がいる。	知識・理解の差がみられる。授業時数が少ないので、家庭学習における取組を工夫させたい。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	工夫	技能	知識・理解
おおむね、あるいは十分満足できる状況である。	実践的・体験的な学習活動では、「技能」や「工夫」の評価に差が出てくる生徒がいる。	意欲的に取り組んでいるが、実践的・体験的な学習活動では、技能の観点に差が出てくる生徒がいる。	知識・理解の差がみられる。授業時数が少ないので、家庭学習における取組を工夫させたい。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・プリント教材を用意し、毎時間の授業の振り返りを家庭でできるようにする。 ・作業に遅れがある生徒には、道具の使い方を実演・助言し、さらには木工機械を利用して切断を行うなど加工の補助を行い、進度をそろえていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の理解度が本人にフィードバックされるように、ワークシートに記入させ、適切なアドバイスができるようにする。 ・プリントやワークシートで課題に気づき、解決できる能力を身につけさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な学力を身につけさせるために、関心・意欲の高揚につながる教材を開発する。 ・机間指導をし、躓きのある生徒にはヒントを与える。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・プリント教材を用意し、毎時間の授業の振り返りを家庭でできるようにする。 ・作業に遅れがある生徒には、道具の使い方を実演・助言を行い、進度をそろえていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の理解度が本人にフィードバックされるように、ワークシートに記入させ、適切なアドバイスができるようにする。 ・プリントやワークシートで課題に気づき、解決できる能力を身につけさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な学力を身につけさせるために、関心・意欲の高揚につながる教材を開発する。 ・実践的・体験的活動を通して、技術への関心を高める。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・プリント教材を用意し、毎時間の授業の振り返りを家庭でできるようにする。 ・作業に遅れがある生徒には、コンピュータの操作方法を実演・助言を行い、進度をそろえていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の理解度が本人にフィードバックされるように、ワークシートに記入させ、適切なアドバイスができるようにする。 ・プリントやワークシートで課題に気づき、解決できる能力を身につけさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な学力を身につけさせるために、関心・意欲の高揚につながる教材を開発する。 ・実践的・体験的活動を通して、技術への関心を高める。